

表現する力の育成をめざして

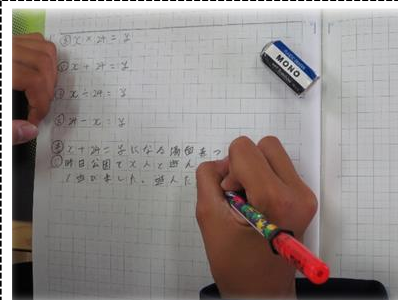
今年度も、算教科を窓口、子どもの思考や表現する力を促す数学的活動を充実させ、日常生活と算数をつなぐ授業展開を工夫し、授業改善を目指しています。そこで、「表現する力」をつけていくために、「まとめ」「適用問題」「振り返り」の時間の確保や再構築の時間の充実を図り、各教科において、「読む・書く・話す・聞く」の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し、習慣化を目指します。

6年生算数科「文字を使った式」



課題把握

自力解決に進むために、みんなで課題把握を丁寧に行います。



自力解決

自分が考えたことを文章や絵図で整理し、自分の考えを表現できるようにします。



交流

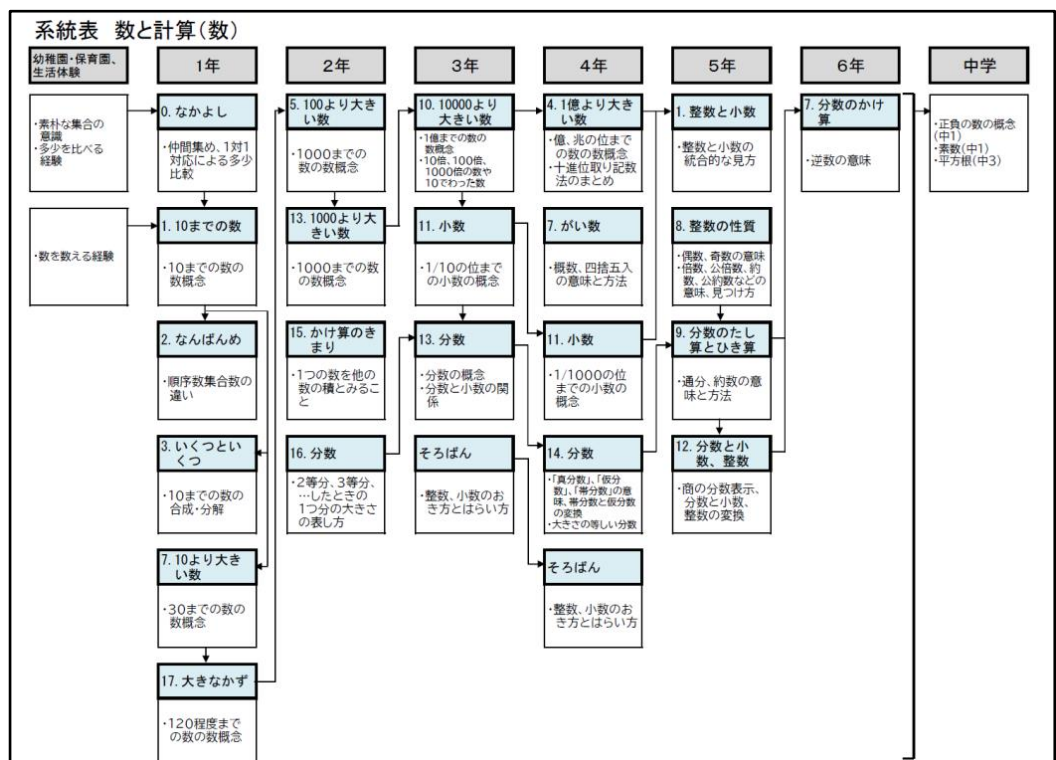
友達の考えを聞くことによって、自分の考えが深まったり、新たな視点が生まれたりします。

6年生では、1学期に「文字を使った式」の学習をしました。日常生活では文字を使う式はあまりないように感じますが、実は文字を使わなくても、考え方としては身近にたくさんあることに気が付きました。このように、算数科においても、「日常生活と算数をつなぐ」ことを大切にしながら取り組みを進めています。

学びの系統表

右に示している表は、算数科「数と計算」領域の「数」の学習系統表です。ほかにも「加法・減法」「乗法・除法」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」についての系統表があります。これを見ると、今学習

していることがどこにつながっているのか、復習するときにはどこに戻ればよいかすぐにわかります。学校では、子どもたちが分からない問題に出合ったとき、これまでに学習した中で使えそうな知識や考え方はないかと考え、既習内容を想起して結びつけられるように、学習内容の系統や関連の理解を深め、つながりを意識した指導をよりめざしていきます。



子どもの学習を調整する力

子ども自身が自分の学習を見直し、改善していく力。このような力をつけていくためには、学校の授業とともに家庭での学習習慣の定着が欠かせません。そこで今年度も多賀中学校の定期テスト前の期間を『家庭学習がんばろうウィーク』として宿題や自主勉強を計画的に行う強化週間にする予定です。ご家庭でもお声かけをいただくなどご協力をお願いいたします。(後日お便り配布)

自主勉強ノートの紹介

自主勉強でも学習の前にめあてをもって取り組めるといいですね。

自分が大事だと思うところをポイントとして書き加えています。

10.20

類義語、対義語、多義語の使い方を覚える。

類義語…意味の似ている言葉
 ・欠点—短所 ・希望—願望
 ・準備—用意

目標—目的
 ・今年の目標を決める。
 ↳実現しようとして目指しているねらい。
 ・この旅の目的は、温泉に入ることだ。
 ↳あることを行うときに、こうしたいと思っている事柄。

★ポイント★
 意味が似ている言葉の内容によって、はたして言葉とそうでない言葉がある。

対義語…反対の意味や、対の意味をもつ言葉
 反対の意味
 ・買う—売る ・増える—減る
 ・走る—歩く ・止まる—動く

対の意味をもつ言葉
 ・原因—結果 ・勝利—敗北

多義語…複数の意味をもつ言葉

手
 ①人の体の左右から出ている部分
 (例)手をひいて歩く。
 ②手首の先の部分。
 (例)手をたたくて笑う。
 ③方法、やり方。
 (例)うまい手を思いつく。

足
 ①(人や動物の)体をささえたり歩いたりする部分
 ②道具などのささえになる部分
 (つくえの足)
 ③歩くこと、物の進み方。
 (足がはやい)
 ④(「お足」の形で)お金
 ⑤乗り物
 (足の便がよい)

①ふだん使っている言葉の中にもいろいろな意味をもっていることがわかり、興味がわきました。

調べて書くだけでなく、ここでもポイントとして、自分が考えたことを書いています。

「めあて」から始まり、最後は「ふりかえり」で終わると何を学んだのかがわかんと思います。

10.19

「線状降水帯」とはどんなものなのか調べる。

線状降水帯とは…
 ↳積乱雲が列になって同じ場所を通過・停滞することによって、強い雨のエリアです。

→このように線状降水帯は、「次々に発生する強い雨雲の列」になったもので、同じところで大雨が降り続きます。

線状降水帯が発生する条件

- ①あたかくしめ、大気が地上付近に継続して大量に流れる
- ②流れ込んだ空気を高い所まで持ち上げやすい前線や地形がある
- ③大気の状態が不安定で積乱雲が発達しやすい
- ④上空の風の影響で積乱雲が列をつくること

線状降水帯のしくみがわかってよかった。近くで発生したら、情報を聞いて安全に行動したい。

自主勉強では、学校で学習したことを復習するだけでなく、日常生活の中での疑問や興味があることを調べてみるのもいいですね。

絵や図を用いると、わかりやすくなります。

学習したことを、今後の生活に生かしていくことが、とても大切であり、良い学習になっていると言えます。

分数の大きさをくらべて気づいたことをまとめる。

★たいてい直線とひくとき重なる分数が見つかった

気づいたこと
 ・くらべてくると大きさがよくなる
 ・数がちがっても大きさが同じ分数がいっぱいある
 ・ $\frac{1}{2}$ や $\frac{2}{4}$ と同じ大きさの分数はちがった分母をかえると出てくるかもしれない。

①分数の大きさがわからなくなったりしたときは、今日みたいに、くらべてくるとよいことがわかった。

低学年はまず、家庭学習に丁寧に取り組み、学習習慣を確立することが大切です。中・高学年は、自分自身の学習を振り返り、苦手なものや授業で習ったことで練習の必要なもの、復習・予習など計画的に学習を積み重ねることが大切です。また、興味のあることを探求することもおすすめします。自分自身で学習する力は簡単に身につくものではありません。『継続は力なり』です。